



楽しい花火 正しく安全に!

楽しい花火の原料は「火薬」です。火災ややけどなどの事故が起こらないよう十分に注意して、周囲の迷惑とならないようルールとマナーを守って楽しい夏にしましょう。

●チェックしよう!安全に花火で遊ぶポイント

- 子どもだけで、花火をしない、させない。大人が付き添う。
- 水の入ったバケツを用意し、遊び終わった花火は、水につけて確実に消す。
- 風の強いときや空気が乾燥しているときは花火をやめる。
- 正しい場所と正しい方法で点火する。マッチやライター、花火で点火せず、ろうそくなどで点ける(一度にたくさんの火を点けない)。
- 花火を人や家に向けたり、燃えやすいものがある場所で遊ばない。服に火がつかないように気を付ける。
- 噴き出し、打ち上げなどの筒物花火は、途中で火が消えても、筒をのぞかない(大けがにつながる恐れがあるため)。
- 花火をポケットに入れて持ち運んだり、花火をほぐして遊ばない。

●花火は、迷惑にならない場所と時間と後片付けを

深夜に花火をしたり、その後片付けをしないなど、周辺住民への迷惑行為が深刻化しています。ルールとマナーを守り、夏の楽しい思い出にしましょう。



チケット情報

<p>ひこね市文化プラザ</p> <p>10月22日(土)16:00 グランドホール</p> <p>劇団四季ファミリーミュージカル</p> <p>人間になりたがった猫</p> <p>指定 [7月24日(日)9:00~友の会予約開始]</p> <p>大人:S席4,500円 A席2,700円</p> <p>中学生以下:S席2,700円 A席1,800円</p> <p>[7月31日(日)9:00~一般予約開始]</p> <p>大人:S席5,000円 A席3,000円</p> <p>中学生以下:S席3,000円 A席2,000円</p> <p>※3歳以上有料。(2歳以下の着席鑑賞は有料)</p>	<p>みずほ文化センター</p> <p>7月18日(月・祝)14:00 多目的ホール</p> <p>伝統芸能スペシャルライブ「名手共演」</p> <p>民謡・津軽三味線・和太鼓・津軽手踊り</p> <p>自由【好評発売中】</p> <p>小学生以上 託児あり(有料・要予約)</p> <p>一般・前売2,000円、当日2,500円</p> <p>青少年以下・前売1,000円、当日1,500円</p>
<p>11月27日(日)17:00 グランドホール</p> <p>大黒摩季 MAKI OHGURO 30th Anniversary</p> <p>Best Live Tour 2022-23-SPARKLE- Season II</p> <p>Powered by CHAMPAGNE COLLET</p> <p>指定 [友の会好評発売中] 一般7,800円</p> <p>[7月2日(土)9:00~一般予約開始]</p> <p>一般7,800円</p> <p>※4歳以上有料。3歳以下無料。(ただし席が必要な場合は有料)</p> <p>※学生料金(高校生・中学生)、キッズ料金(小学生以下)別途あり。当日返金に対応。詳しくはお尋ねください。</p> <p>申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00)</p> <p>チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/</p> <p>7月の休館日: 4日(月)、11日(月)、19日(火)、25日(日)</p>	<p>8月20日(土)14:00 多目的ホール 小学生以上 託児あり(有料・要予約)</p> <p>自慢亭 みずほ寄席 vol.44「茶内公演」</p> <p>自由【好評発売中】</p> <p>前売500円、当日600円</p>
<p>【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】</p> <p>※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。</p> <p>※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。</p>	<p>9月25日(日)14:00 多目的ホール 小学生以上 託児あり(有料・要予約)</p> <p>滋賀県アートコラボレーション事業</p> <p>スチールパンオーケストラ+アニソン+ダンス ライブ</p> <p>出演:スチールパンPAN NOTE MAGIC、アニソン 堀江美都子、ダンス NAOTO&Dimple's</p> <p>自由 [7月10日(日)~販売開始]</p> <p>一般・前売2,000円、当日2,500円</p> <p>青少年以下・前売1,000円 当日1,500円</p> <p>申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00~17:00)</p> <p>7月の休館日: 5日(火)、12日(火)、19日(火)、26日(火)</p>

◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置 ▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサが滋賀」の表示の設置



テーマ展

7月20日(水)まで
「能を彩る道具—小道具と作り物—」

能において、中啓をはじめとする小道具や舞台に据える作り物は、演目の内容や登場人物の役柄を象徴する、上演に欠かせない重要な道具です。本展では、これら能を彩る道具の意味や役割を演目とともに紹介します。

企画展

7月23日(土)~8月31日(水)
「彦根藩の足軽—歩兵たちの近世—」

戦乱の世に、鉄砲や弓などで戦った歩兵の足軽。太平の世となった近世、彦根藩の足軽は日々の軍事鍛錬に加え、藩政のさまざまな実務を担い、幕末期には再び戦場で活躍しました。本展では、古文書や足軽の武器・武具などから、その多様な実態と特質に迫ります(詳しくは5ページへ)。

▲井伊直孝御書付之写(個人蔵)

■スライドトーク
【日時】7月23日(土)14:00~(30分程度)
【解説】当館学芸員 【場所】講堂
※無料(観覧料は別途必要) ※当日受付(先着35人、受付は13:30~)



▲井伊直孝御書付之写(個人蔵)

能の上演にあたって、面や装束とともに欠かせない道具が、中啓をはじめとする小道具と舞台に据える山や小屋、舟などを象った作り物です。これらは、登場人物の役柄や場面の情景を表わし、物語を展開させる重要な役割を担います。

「道成寺」は、「道成寺縁起」などを題材にした、恋に破れた女の恨みと死後の執念の恐ろしさを描く演目で、鐘の作り物を使った演出が見どころです。そのクライマックスは、白拍子の姿で現れた怨霊が天井に吊った鐘の中に消える「鐘入」。白拍子が鐘の下で飛び上がると同時に鐘を落とすという、大胆な演出がなされます。そして鐘が引き上げられると、本性である恐ろしい蛇の姿を変えて現れる、劇的な登場シーンが展開するのです。使用する鐘の作り物は、高さ約180cm、重さはなんと80kg以上もあります。鐘入の前後で姿を変えるためには、役者は鐘の中で扮装を変更しなくてはなりません。そのため、鐘にはいろいろな細工が施されています。下の写真は、さまざまな作り物の図と寸法などを1冊にまとめた「能道具図式」(琴堂文庫・彦根城博物館蔵)の中の1図で、鐘の内側の細工を具体的に記しています。内側に入れる道具として、蛇の姿で使用する般若の面2面(1面は面が損傷した場合の予備)と、怨霊を祈り伏せようとする僧を威嚇するために用いる打杖、役者の準備が整ったことを知らせるための鏡鉢(銅鏡)、役者が自分の姿を確認するための鏡、装束を調



▲「道成寺」の鐘の作り方(「能道具図式」)

写真の資料は、テーマ展「能を彩る道具—小道具と作り物—」で6月23日(木)~7月20日(水)に展示します。

「彦根城博物館学芸員 茨木恵美」

える糸や針に加え、のどを潤す水吸(水筒)、更には気付け薬入りの印籠(いんろう)があげられ、右下にはこれらを設置するための入れ物の図と寸法、左には、それらを含めた道具の設置場所を記した、鐘の詳細な内部図が記されています。鐘入、そして蛇体の登場という「道成寺」の劇的な演出は、このように念入りに準備された作り物と、さまざまな道具によって成り立っているのです。

作り物は普段は注目されることの少ない道具ですが、能を見る際には、それが何を表しているのか、またどのように使われているのかにも是非注目してみてください。

Twitterで情報発信中!

彦根城博物館では、さまざまな情報をタイムリーに発信するため、「彦根城博物館Twitter (@hikone_museum)」を令和3年10月に開設しました。展覧会、講座、イベントなどに関する情報をはじめ、展示作品の見どころや四季折々の博物館の様子などを随時お知らせしています。下のQRコードから、ぜひフォローをお願いします!

お知らせ

7月21日(木)・同22日(金)は、展示替えのため一部休室します。



彦根城博物館 Twitter ホーム画面

作り物による大胆な演出—能「道成寺」の鐘—

とまの玉手箱

博物館からのメッセージ